

研究課題名	低侵襲心臓手術の術中・術後管理の検討
研究期間	実施許可日 ～ 2030 年 3 月 31 日
研究の対象	2020 年 1 月～2023 年 12 月の間に広島大学病院で MCS(低侵襲心臓手術)を受けられた方
研究の目的・方法	近年の最小限の侵襲で手術を行う技術の進歩に伴い、1990 年代から心臓手術の低侵襲化が始まりました。低侵襲心臓手術 (Minimally invasive cardiac surgery : MICS) とは、胸骨縦切開を行わない、または人工心肺を用いない心臓手術と定義されています。当院においても右小開胸による僧帽弁手術等を行っています。MICS は胸骨感染や縦隔炎の回避等の利点がある一方、肺水腫や肺炎、胸水貯留等の合併症の報告もあります (J Card Surg 2009; 24: 693-694)。本研究の目的は、MICS の術中・術後管理経験をもとに MICS の麻酔を含めた術中管理法と術後管理法を検証することです。これにより、今後の MICS の術中管理や術後管理が向上する可能性があります。 本研究は、診療録 (カルテ) 情報を調査して行います。
研究に用いる試料・情報の種類	情報：カルテから使用する内容は、患者背景 (年齢、性別、身長、体重、ASA 分類、病名、術式、心機能所見、画像所見、血液データ)、術中情報 (手術時間、人工心肺時間、大動脈クランプ時間、麻酔時間、片肺時間、麻酔法、呼吸器設定、投与薬剤、血圧などの Vital Sign、心機能所見、水分バランス)、術後情報 (Vital Sign、水分バランス、処置の時間と内容、呼吸器設定、投与薬剤、心機能所見、画像所見、集中治療室滞在日数、入院日数、転機) などです。 試料・情報の管理責任者： 医系科学研究科麻酔蘇生学 教授 堤 保 夫
利用または提供を開始する予定日	2021 年 8 月 23 日 (実施許可日以降)
個人情報の保護	得られた試料・情報から氏名・生年月日・住所等の特定の個人を識別できる記述を削除し、代わりに新しく研究用の番号を付けて取り扱います。
外部への試料・情報の提供	ありません。
研究組織	本学の研究責任者 広島大学医系科学研究科 麻酔蘇生学 教授 堤 保夫
その他	ありません。
研究への利用を辞	研究に試料・情報が用いられることについて、研究の対象となる方

退する場合の連絡先・お問合せ先	もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合は、研究対象としますので下記の連絡先までお申し出ください。なお、お申し出による不利益が生じることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されている場合には、提供していただいた情報や試料に基づくデータを結果から取り除くことが出来ない場合があります。なお公表される結果には、特定の個人が識別できる情報は含まれません。 また、本研究に関するご質問等あれば下記連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報等の保護や研究の独創性確保に支障がない範囲内で、研究計画書および関連書類を閲覧することができますので、お申し出ください。 広島大学病院 麻酔科 担当者：講師 加藤 貴大 〒734-8551 広島県広島市南区霞 1-2-3 電話番号：082-257-5267
------------------------	--